

(2) 社会

ア 個々の問題の概要及びその通過率

— 評価の観点 —	
思・判・表	：社会的な思考・判断・表現
技 能	：資料活用の技能
知・理	：社会的事象についての知識・理解

学習指導要領の内容	問題番号	出題のねらい	評価の観点	設定通過率 (%)	通過率 (%)
地(1)ア	1	① 太平洋を指摘できる。	知・理 技 能	70.0	59.6
		② 正距方位図法の特徴を理解し、活用することができる。	思・判・表 知・理	40.0	51.8
	(2)	ニューオーリンズの日時を求めることができる。	思・判・表 技 能	40.0	36.6
地(2)ウ	2	(1) 弘前市の雨温図を選択できる。	思・判・表 技 能	80.0	58.7
		① ヤマセを理解している。	知・理	60.0	25.9
	② 青森県の農業の特色を指摘できる。	思・判・表	50.0	60.2	
地(2)ア	3	(1) 資料をもとに、中部地方を指摘できる。	思・判・表 技 能	50.0	56.3
		(2) 資料をもとに、石川県を指摘できる。	思・判・表 技 能	50.0	46.7
地(2)エ	4	(1) 2万5千分の1の地形図に示された地域の様子を読み取ることができる。	技 能 知・理	50.0	60.5
		(2) 縮尺を手がかりに、地図上の長さから実際の距離を求めることができる。	技 能 知・理	50.0	45.2
地(1)エ	5	(1) 資料からの情報を多角的に読み取り、国名を指摘できる。	知・理 技 能	60.0	71.5
		(2) 資料からの情報を多角的に読み取ることができる。	技 能 思・判・表	50.0	42.8
		(3) 2つのグラフから、携帯電話の生産台数の変化について読み取ることができる。	技 能 思・判・表	50.0	19.9
歴(1)ア	6	① 時代区分について理解している。	知・理	60.0	66.6
② 古代、中世、近世について、各時代の特色を理解している。		知・理	60.0	70.8	
歴(2)イ		(2) 平安時代の政治の移り変わりについて理解し、主な出来事を古い順に指摘できる。	知・理 思・判・表	50.0	38.6
歴(2)ウ (3)イ (4)ア	(3)	飛鳥時代～安土桃山時代の各文化を代表する作品を理解している。	知・理	50.0	47.9
歴(2)ア	7	(1) 前方後円墳を理解している。	知・理	80.0	89.6
		(2) 古墳時代と同時期の資料を選択できる。	技 能	70.0	77.1
歴(2)イ	8	(1) 資料から、十七条の憲法を制定した目的を判断することができる。	思・判・表	60.0	76.1
		(2) 当時の農民の生活の様子について理解している。	知・理	50.0	48.0
歴(2)ウ	(3)	資料を参考に、国風文化について説明できる。	思・判・表	50.0	53.4
歴(3)ア	9	(1) 源頼朝が行った政策について理解している。	知・理	60.0	58.0
		(2) 鎌倉時代の建築物として東大寺南大門を理解している。	知・理	60.0	35.5
		(3) 鎌倉仏教の特色について理解している。	知・理	60.0	66.2
歴(2)イ (3)ア	10	(1) 古代～中世の日本と中国との関係に着目し、中国の王朝名を理解している。	知・理	60.0	45.0
歴(4)ア		(2) 織田信長の政策について理解している。	知・理	60.0	82.9
(3) 刀狩令を出した人物名を理解している。		知・理	60.0	82.6	
歴(3)イ	(4)	御成敗式目を出した目的を理解している。	知・理	50.0	60.6
歴(1)ア	(5)	年表の内容を理解し、年表のテーマを選択できる。	技 能	60.0	74.5

イ 個々の問題の教育事務所管内・地区別通過率

問題番号	問題の内容		設定 通過率	東青管内			西北管内			
				青森市	東郡		五所川原市	つがる市	西・北郡	
1	(1)	① 太平洋の指摘	70.0	64.2	64.1	66.9	58.9	63.1	57.1	55.5
		② 正距方位図法の特徴の理解	40.0	55.3	55.5	50.6	51.6	53.6	46.5	52.6
	(2)	ニューオーリンズの日時の算出	40.0	43.3	43.5	39.6	38.7	33.2	42.9	41.9
2	(1)	弘前市の雨温図の選択	80.0	57.3	57.6	53.9	53.5	51.3	51.7	57.8
	(2)	① ヤマセの理解	60.0	27.8	27.3	33.8	23.8	26.8	20.4	22.4
		② 青森県の農業の特色の指摘	50.0	65.0	65.5	59.1	64.4	65.3	63.4	64.2
3	(1)	中部地方の指摘	50.0	61.9	61.8	64.3	53.0	46.9	51.4	60.7
	(2)	石川県の指摘	50.0	49.8	50.0	45.5	43.7	37.2	48.9	47.9
4	(1)	地形図から地域の様子の読取	50.0	63.6	63.6	63.0	58.8	57.5	59.2	60.1
	(2)	実際の距離の算出	50.0	50.8	50.4	57.1	50.5	39.1	64.3	54.0
5	(1)	国名に関する資料をもとにした国名の指摘	60.0	75.7	75.5	80.5	69.0	70.4	68.2	68.0
	(2)	各国の特色に関する資料の読取	50.0	47.2	47.5	42.2	44.1	41.2	45.3	46.4
	(3)	携帯電話の生産台数に関する資料の読取	50.0	21.9	21.5	28.6	18.8	21.0	15.0	19.0
6	(1)	① 時代区分の理解	60.0	70.6	70.5	70.8	65.0	65.1	59.8	68.2
		② 古代・中世・近世の社会の特色の指摘	60.0	75.1	75.1	76.0	66.7	65.9	64.6	69.0
	(2)	平安時代の様子の指摘	50.0	45.2	45.4	42.9	38.1	41.2	34.8	36.8
	(3)	飛鳥から安土桃山時代の文化の区別	50.0	51.8	51.5	56.5	47.6	46.5	42.9	51.8
7	(1)	前方後円墳の理解	80.0	91.9	91.8	92.9	82.5	79.9	82.9	85.0
	(2)	古墳時代の資料の区別	70.0	78.5	78.5	77.9	75.9	79.4	76.3	71.9
8	(1)	十七条の憲法の目的の理解	60.0	80.5	80.3	84.4	71.4	71.7	63.1	76.7
	(2)	古代の農民の生活の様子	50.0	51.7	51.9	48.7	41.6	41.6	41.1	41.9
	(3)	国風文化の特色の説明	50.0	60.6	60.2	67.5	50.6	48.9	58.0	47.6
9	(1)	源頼朝の政策の指摘	60.0	64.1	64.1	63.6	52.3	56.8	44.7	52.4
	(2)	鎌倉時代を代表する建築物の名称	60.0	42.2	42.2	42.2	29.9	30.7	34.2	26.3
	(3)	鎌倉仏教の特色	60.0	69.3	69.2	70.8	61.9	67.5	64.3	54.3
10	(1)	中国の王朝名の理解	60.0	53.4	52.9	60.4	38.9	38.7	39.3	38.7
	(2)	織田信長の政策の指摘	60.0	85.4	85.1	89.6	80.0	78.8	74.8	84.6
	(3)	刀狩令を出した人物	60.0	83.5	83.0	92.2	81.8	81.6	78.4	84.4
	(4)	御成敗式目の目的の指摘	50.0	67.2	67.2	67.5	59.6	59.5	58.3	60.7
	(5)	年表の内容に関するテーマの指摘	60.0	80.1	79.5	88.3	72.7	73.2	69.4	74.5
教 科 全 体			56.7	61.3	61.3	62.6	54.9	54.5	54.0	56.0

(単位：%)

	中 南 管 内				上 北 管 内			下 北 管 内			三 八 管 内		県全体		
	弘前市	黒石市	平川市	中・南郡	十和田市	三沢市	上北郡	むつ市	下北郡	八戸市	三戸郡				
60.1	63.3	56.4	56.2	52.7	59.2	67.2	46.0	59.7	44.8	46.4	38.8	59.3	59.4	58.9	59.6
44.3	45.9	39.1	46.1	40.8	52.7	59.1	52.7	48.0	44.7	43.3	50.0	56.0	56.3	54.9	51.8
30.9	32.1	29.3	24.8	34.2	37.5	47.2	29.0	34.7	23.8	23.6	24.4	36.5	34.0	45.3	36.6
51.5	54.4	47.8	43.3	45.5	59.5	63.1	64.3	55.2	56.0	56.9	52.5	67.9	68.6	63.7	58.7
24.1	27.0	19.1	15.3	15.8	27.4	34.4	27.0	23.2	18.5	16.8	26.7	27.3	27.9	23.2	25.9
64.8	66.0	72.1	56.8	56.9	51.7	67.6	45.7	47.1	54.3	56.3	44.8	58.0	57.7	59.8	60.2
50.2	49.8	51.4	53.3	47.6	55.1	60.5	52.9	52.3	50.5	49.4	54.4	59.8	59.1	62.3	56.3
41.5	43.0	38.8	38.6	40.5	43.7	48.2	39.5	42.4	45.5	46.4	41.9	51.9	52.0	51.7	46.7
58.3	60.0	55.0	57.8	53.7	61.1	63.3	60.7	59.7	53.2	52.7	55.0	61.7	61.9	60.8	60.5
43.1	44.7	44.7	36.6	38.9	44.7	54.2	41.1	39.5	28.5	29.5	25.0	44.0	42.2	50.2	45.2
69.3	68.6	72.6	69.3	68.7	67.7	76.3	64.3	62.7	62.2	63.2	58.1	75.2	74.7	76.8	71.5
39.7	43.5	36.0	35.3	30.6	40.5	45.1	46.2	34.8	38.8	39.1	37.5	43.3	42.7	45.4	42.8
18.0	18.9	15.6	17.3	17.0	19.0	22.5	20.6	15.8	16.3	15.8	18.1	21.5	21.9	20.3	19.9
58.6	58.8	58.4	61.1	55.1	69.7	74.7	66.5	67.6	59.5	59.2	60.6	70.0	71.0	66.5	66.6
67.1	67.7	66.5	71.6	60.5	69.3	72.6	67.9	67.7	64.4	62.9	70.0	74.2	72.8	78.9	70.8
35.4	35.1	34.1	34.6	39.5	35.6	39.5	31.9	34.6	32.1	34.1	24.4	38.9	38.9	38.9	38.6
45.6	47.8	42.5	50.7	33.7	46.6	52.5	37.3	46.8	41.8	40.1	48.1	49.1	48.5	51.0	47.9
87.5	89.3	84.9	92.2	76.9	90.5	94.8	89.3	87.9	85.7	86.4	83.1	92.8	92.8	92.9	89.6
75.8	78.4	68.2	69.3	79.3	78.3	79.9	78.3	77.2	68.3	67.2	72.5	78.9	80.0	75.3	77.1
73.0	74.6	64.2	77.8	70.7	73.4	79.9	70.5	70.1	74.4	76.2	67.5	78.8	78.5	79.8	76.1
46.1	45.4	41.9	54.2	46.3	45.9	46.0	43.5	47.1	42.2	42.8	40.0	52.3	53.4	48.6	48.0
46.6	47.1	49.2	40.5	46.9	52.5	67.4	24.8	55.2	42.0	39.8	50.6	57.1	55.5	62.7	53.4
54.3	55.0	46.1	55.6	59.9	57.0	62.0	52.9	55.3	54.1	53.7	55.6	59.6	59.5	59.8	58.0
33.1	32.7	23.7	40.2	38.8	34.3	39.8	28.8	32.9	30.1	29.8	31.3	36.3	36.6	35.2	35.5
62.2	60.2	52.2	72.5	73.1	69.0	77.5	69.4	62.7	56.8	57.6	53.8	69.0	70.7	63.2	66.2
41.4	41.0	38.5	39.4	48.3	45.0	53.7	46.2	38.1	40.2	42.9	30.0	44.8	42.8	51.4	45.0
79.6	80.3	75.5	87.2	75.5	83.4	87.1	79.5	82.5	78.7	77.9	81.9	85.3	85.2	86.0	82.9
77.2	76.2	77.8	90.2	74.1	82.5	90.1	79.5	78.3	80.3	81.7	75.0	86.3	85.7	88.6	82.6
58.6	60.8	51.1	55.5	61.2	55.6	61.5	49.6	54.1	51.5	52.4	48.1	62.4	62.8	61.1	60.6
68.0	69.9	59.2	73.8	67.3	73.2	80.2	69.9	69.8	67.5	66.9	70.0	77.6	77.9	76.7	74.5
53.4	54.5	49.9	53.4	52.2	56.2	62.4	52.9	53.5	50.4	50.5	50.0	59.3	59.0	60.2	57.1

ウ 内容・領域別結果の概要

内容・領域	問題数 (問)	通過率の高かった 問題(10問)	通過率の低かった 問題(10問)	各内容・領域の 通過率(%)	設定通過率 (%)
世界の様々な 地域	6	5(1)	1(2)、5(2)、 5(3)	47.0	51.7
日本の様々な 地域	7		2(2)①、3(2)、 4(2)	50.8	55.7
歴史のとらえ 方	3	6(1)①、6(1)②、 10(5)		70.6	60.0
古代までの 日本	7	7(1)、7(2)、 8(1)	6(2)、6(3)	61.6	58.6
中世の日本	5	9(3)	9(2)、10(1)	53.0	58.0
近世の日本	2	10(2)、10(3)		82.8	60.0

内容・領域別にみると、県の平均通過率と比較して、これを上回ったのは「歴史のとらえ方」・「近世の日本」である。同程度だったのは「古代までの日本」・「中世の日本」であり、下回ったのは「世界の様々な地域」・「日本の様々な地域」である。

設定通過率と比較すると、これを上回ったのは「歴史のとらえ方」・「近世の日本」である。同程度だったのは「世界の様々な地域」・「日本の様々な地域」・「古代までの日本」・「中世の日本」である。

エ 評価の観点別結果の概要

評価の観点	問題数 (問)	通過率の高かった 問題(10問)	通過率の低かった 問題(10問)	各観点の 通過率(%)	設定通過率 (%)
社会的な 思考・判断・ 表現	11	8(1)	1(2)、3(2)、 5(2)、5(3)、 6(2)	48.9	51.8
資料活用の 技能	12	5(1)、7(2)、 10(5)	1(2)、3(2)、 4(2)、5(2)、 5(3)	54.0	56.7
社会的事象 についての 知識・理解	19	5(1)、6(1)①、 6(1)②、7(1)、 9(3)、10(2)、 10(3)	2(2)①、4(2)、 6(2)、6(3)、 9(2)、10(1)	58.5	57.4

(※表記されている問題の番号については観点が重複しているものがある。)

観点別にみると、県の平均通過率と比較して、同程度だったのは「資料活用の技能」・「社会的事象についての知識・理解」であり、下回ったのは「社会的な思考・判断・表現」である。設定通過率と比較すると、すべての観点が同程度だった。

オ 個々の問題の主な誤答例とその原因

問題番号	通過率(%)	設定通過率(%)	主な誤答(無答を含む)例 (かっこ内の数字は、抽出した解答全体に占める誤答の割合・%)	
①	(2)	36.6	40.0	無答(10.0)、26日午前4時(4.5)、25日午前10時(3.5)、24日午後8時(3.0)、24日午後9時(2.5)
②	(2)①	25.9	60.0	エ(50.0)、ウ(14.0)、ア(5.0)
⑤	(3)	19.9	50.0	ウ(58.0)、エ(19.0)、ア(3.0)
⑥	(2)	38.6	50.0	イアウ(14.0)、ウイア(12.0)、アウイ(11.0)、ウアイ(10.0)
⑨	(2)	35.5	60.0	ア(40.0)、ウ(15.0)

- ①(2)について
誤答の原因として、時差を導くための段階的な理解が不十分であることが考えられる。
- ②(2)①について
誤答の原因として、青森県の夏の気候の特色が理解されていないことが考えられる。
- ⑤(3)について
誤答の原因として、資料からの情報の正しい読み取りが不十分であることが考えられる。
- ⑥(2)について
誤答の原因として、平安時代の代表的な出来事の順序の理解が不十分であることが考えられる。
- ⑨(2)について
誤答の原因として、奈良時代から鎌倉時代の代表的な建築物の理解が不十分であることが考えられる。

カ 今後の指導について

内容・領域別にみた課題として、「世界の様々な地域」・「日本の様々な地域」の学習内容の定着が挙げられる。

今後の学習指導においては、日本や世界の様々な地理的事象に関心をもたせながら、学習に取り組めるようにする必要がある。

評価の観点別にみた課題として、「社会的な思考・判断・表現」の育成が挙げられる。社会的な事象に関心をもたせ、学習課題に対し多面的・多角的に捉える能力の伸長や自分の考えをもてるようにすることが必要である。

今後の学習指導においては、新聞記事や体験から感じ取ったことを表現したり、事実を正確に理解し伝達したり、互いの考えを伝え合い、自らの考えや集団の考えを発展させたりする場面を設定することが大切である。

「資料活用の技能」の課題としては、統計資料の読み取りや読図を通して社会的な事象の認識ができるよう、基礎的・基本的な技能を身に付けさせたり、ノートやレポート等に自分の考えを入れたまとめをし、発表する力を育成したりすることが挙げられる。

今後の学習指導においては、地図や地球儀、写真・統計資料等から、情報を適切に選択して

読み取ったり、図表などにまとめたりする場面において、社会的事象の意味を解釈する学習や事象間の関連を説明する学習などを通して、社会的な見方や考え方の育成に努めることが必要である。

「社会的事象についての知識・理解」の課題としては、各観点との関連を図り、身に付けた知識や概念をその後の学習や生活にいつでも活用できるようにすることが挙げられる。

今後の学習指導においては、作業的、体験的な活動を学習過程の中に適切に位置付け、習得した知識や技能を繰り返し活用する場面を設定する授業が大切である。

地理的分野の指導

指導例 グラフの読み取りの指導（着眼点とポイント）

1 基本を押さえて読み取る。

① 表題、出典、年度を読み取る。

※ [] 内は答え

・何の資料か。

[A村の人口と65歳以上の人口の割合]

・出典はどこか。

[A村の資料]

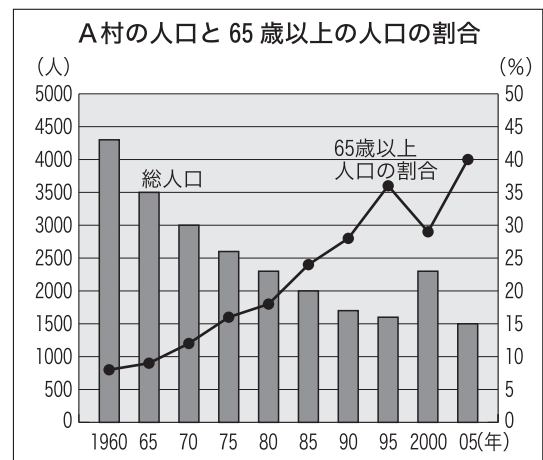
・いつの資料か。

[2006年]

② 単位を読み取る。

・縦軸は何を表しているか。 [人、%]

・横軸は何を表しているか。 [年]



(A村資料 2006年)

③ 数量を読み取る。

発問 2005年のA村の人口はどれくらいですか。 [1500人]

発問 2005年のA村の65歳以上の人口の割合はどれくらいですか。 [40%]

発問 2005年のA村の65歳以上の人口はどれくらいですか。 [600人]

④ 傾向を読み取る。

発問 このグラフから読み取れることは何ですか。

[A村の人口は、ほぼ年々減り続けている。]

[A村の65歳以上の人口の割合は、ほぼ年々高くなっている。]

2 読み取った事実から学習問題をつくり、予想・検証・まとめを行う。

① 学習問題をつくる。

なぜ、A村の人口は減り続け、65歳以上の人口の割合が高くなってきているのだろうか。

② 読み取れる事実と関連させて予想する。

発問 学習問題について予想してみよう。

[A村では、若い人が都市へ移り住み、その結果、高齢化が進んでいるからではないか。]

③ 資料をもとに検証する。

④ 学習問題についてのまとめをする。

個々の問題の誤答傾向からみた課題としては、地理的分野においては、統計資料等の活用能力の伸長が挙げられる。そのためには、授業の中で、計画的かつ継続的に、統計資料等の活用を図っていく必要がある。また、「世界の様々な地域」や「日本の様々な地域」の学習においては、地図、地球儀、衛星画像等を有効に活用して事象を説明したり、自分の解釈を加えて論述したり、意見交換したりするなどの学習活動を充実させることが必要である。例えば、地図帳の一般図や主題図を読み取ったり、学習成果を白地図上に表現したりする活動を行うことが考えられる。

歴史的分野においては、一問一答的な基礎的知識を問う問題の通過率は高いが、歴史的事象の順序を問う問題や各時代の政治、生活、文化、外交などの各カテゴリー枠の事象の区別・順序に関する問題（平安時代の政治の変遷に関する問題、農民の生活に関する問題、建造物の歴史に関する問題、各時代の文化の作品に関する問題、中国の王朝名の変遷に関する問題）の通過率が50%を下回った。そこで、歴史を学んでいく過程で一旦立ち止まり、それまで学習してきた歴史を振り返り、まとめる時間を指導計画の中に位置付ける必要がある。

歴史的分野の指導

指導例 第1学年「歴史分野」最後の「振り返り」の指導（着眼点とポイント）

歴史的分野の目標は「我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解させ」と記されており、「我が国の歴史の大きな流れを、理解させることが最終的な目標となっている。そこで、「我が国の歴史の大きな流れの理解」の一助とするために、例えば第1学年の歴史の学習の最後の1～2時間に「振り返り」として次のような学習を実践してはどうだろうか。

飛鳥時代から室町時代までの歴史を、カテゴリーごとに整理してみよう。

人物や事柄などが記されたキーワードカードを貼り付けていく作業的活動やワークシートに記述していく方法が考えられる。貼り付ける活動の際は、文化に関する写真資料、絵画資料などをカード化し、視覚に訴えた「歴史一覧表」を黒板等に作成する。

また、カテゴリーは「戦乱・戦争」「世界の歴史」「宗教」「使われていた道具」などを設定することも考えられる。

時代	主な人物と政治・主な法令や制度	生活・産業など	文化	外交・対外関係
飛鳥	聖徳太子 十七条憲法 冠位十二階 中大兄皇子 大化の改新 中臣鎌足 天武天皇 律令国家 大宝律令 班田収受法	○その時代を特色 付けるキーワー ドがない場合は 空欄可。	飛鳥文化 法隆寺 法隆寺写真資料	遣隋使 小野妹子 白村江の戦 遣唐使

奈良	平城京	租・調・庸などの税に苦しみ口分田を捨てる農民	天平文化		
	聖武天皇	堀田永年私財法	正倉院		
	・普段の授業の際、キーワードカードを作成すると、何度でも使えるので便利。 ・人物は赤、法令は青などに色分けすると効果的。		正倉院写真資料	縦のラインで説明させる言語活動を取り入れる	
			古事記		
		日本書紀			
		万葉集			
平安	桓武天皇	平安京	国風文化	遣唐使の停止	
	藤原道長	摂関政治	かな文字		
	白河上皇	院政	平等院鳳凰堂	宋との貿易	
	平清盛	初の武家政権	浄土信仰		
	時代が変わると重要な法令が作られていることや政治や社会が文化に影響を与えていることなどにも気づかせたい。		平等院鳳凰堂写真資料		
鎌倉	源頼朝	鎌倉幕府	鎌倉文化	元寇	
	北条泰時	執権政治	鎌倉仏教		
		御成敗式目	東大寺南大門		
	北条時宗	永仁の徳政令	金剛力士像		
		地頭に苦しめられる農民	東大寺南大門写真資料		
		二毛作のはじまり			
		定期市の開催			
南北朝	後醍醐天皇	建武の新政	一覧表作成後は、「一覧表を作成して分かったこと」「今までの歴史学習の感想」「歴史的事柄で最も印象に残ったこと」などを記述させてみるのも有効。		
室町	足利尊氏	室町幕府	北山文化	勘合貿易 (日明貿易) 倭寇	
	足利義満	守護大名	金閣		東山文化
	足利義政	下剋上	座		銀閣
		戦国大名	土倉・酒屋		金閣写真資料
戦国		分国法	二毛作の広がり		
			定期市の広がり		
			座		
			土倉・酒屋		
		惣村のおきて			
		土一揆			
		一向一揆			

設定通過率との比較からみた課題としては、昨年度同様、資料からの読み取りと基礎的・基本的な内容の定着が挙げられる。例えば、地理的分野の2つのグラフから、携帯電話の生産台数の変化について読み取る問題の設定通過率が50%であるのに対して、通過率は19.9%であった。今後の学習指導において、特に地理的分野では、資料を適切に収集、選択、処理、活用し、資料に基づいて考察する活動を取り入れた学習を展開することが大切である。

キ まとめ

内容・領域別では、歴史的分野の「歴史のとらえ方」・「古代までの日本」・「近世の日本」が良好であり、一方、歴史的分野の「中世の日本」及び地理的分野の「世界の様々な地域」・「日本の様々な地域」で不十分な点が認められる。また、評価の観点別では、3つの観点すべてで、設定通過率と同程度であった。

今後の指導においては、社会的事象に関する基礎的・基本的な知識や技能を確実に習得させるとともに、それらを活用する力や探究する力を育成するため、地図、地球儀、写真や統計資料等の各種の情報を集めて読み取り、社会的事象の意味・意義を解釈し、事象の特色や事象間の関連及び自分の考えを論述することなど、言語活動の充実を図った授業の改善・工夫が大切である。